

議会広報特別委員会視察研修報告

○日時 平成 24 年 10 月 2 日（火）～ 10 月 3 日（水）

○研修先

「町村議会広報全国コンクール」で奨励賞を受賞している先進地を視察した。

岐阜県安八町

「ありのままに、わかりやすく」をモットーに、町民と議会との良い関係づくりを目指している。表紙の題字“あんぱち”は、町内の小・中学校の児童・生徒の協力によるもの。表紙写真は、町内の「時の人」の紹介。裏面ページには、住民参加企画として「時の人」との町民インタビューを掲載している。掲載写真は、「町民をだす」「子供がベター」「元気でいきいきと」というコンセプトで選び、町民が目にとめ、読んでもらえるよう工夫している。

牧之原市の議会だよりについて批評・論評をいただいた。

- ▼ 表紙写真や子どもの写真など、後ろ向きで顔が見えない。
- ▼ 写真の使い方は対角線上に配置し、強調したい部分をアップで撮り大きく載せる。
- ▼ 一般質問 2 問目の題字が小さすぎる。
- ▼ 議会用語はなるべく使わず、わかりやすい表現にする。など、たくさんのアドバイスを受けた。

愛知県大口町

「単なる結果のお知らせではなく、プロセスのお知らせ」と考え、“わかりやすく、ありのままに”がキャッチフレーズ。週刊誌の編集が手本で、住民目線の言葉で、時にはくだけた表現も使って議会の様子を伝えているという。

「町民にどうしたら呼んでもらえるか」そのために「わかりやすい紙面づくり」を心掛けているという。

写真は魅力ある写真を使用。

審議順ではなく、重要度順に書き、情報のタイムリ一性、住民の関心事がテーマになっているかに気を使う。

編集後記は、安八町と同様、大口町でも中止している。

研修でのアドバイスを参考に、わかりやすく、読みやすい議会だよりを目指していきます。



岐阜県安八町議会



愛知県大口町議会